

JRIS

鉄道車両—空気配管用締切シールコック

JRIS R 1604 : 2013

(JARI)

平成 25 年 11 月 11 日 制定

日本鉄道車輛工業会規格審査会 審議

(日本鉄道車輛工業会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

日本鉄道車輛工業会規格審査会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	手塚 和彦	株式会社テス
(委員)	潮崎 俊也	国土交通省 鉄道局
	宮本 昌幸	明星大学 名誉教授
	近藤 圭一郎	千葉大学 大学院
	古関 隆章	東京大学 大学院
	岡本 勲	公益財団法人鉄道総合技術研究所
	渡辺 清一	東日本旅客鉄道株式会社
	留岡 正男	東京地下鉄株式会社
	石塚 孝志	日本車輛製造株式会社
	和嶋 武典	株式会社日立製作所
	岡方 義則	新日鐵住金株式会社
(顧問)	明石 秀二	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	井口 雅一	東京大学 名誉教授
(事務局)	溝口 正仁	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	下村 孝	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	田中 裕輔	一般社団法人日本鉄道車輛工業会

日本鉄道車輛工業会 基準整備委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	岩滝 雅人	株式会社日立製作所
(委員)	原 克浩	川崎重工業株式会社
	平野 博嗣	日本車輛製造株式会社
	村田 和実	近畿車輛株式会社
	杉山 隆	株式会社総合車両製作所
	尾藤 千秋	新潟トランス株式会社
	安川 雅夫	三菱重工業株式会社
	島田 富美朗	株式会社日立製作所
	石井 秀明	株式会社東芝
	塩見 省吾	三菱電機株式会社
	梅澤 幸太郎	富士電機株式会社
	星 吉輝	東洋電機製造株式会社
	岡方 義則	新日鐵住金株式会社
	藤原 達雄	ナブテスコ株式会社
	石川 達哉	日本信号株式会社
(鉄車工委員)	鈴木 静男	株式会社京三製作所
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	下村 孝	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	田中 裕輔	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	宗 像 政美	一般社団法人日本鉄道車輛工業会

制 定 : 一般社団法人日本鉄道車輛工業会 会長

掲 示 : 鉄道車両工業 ; 工業会のホームページ : URL ; <http://www.tetsushako.or.jp>

発 行 者 : 一般社団法人日本鉄道車輛工業会

(〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-2 NTF-TEL ; 03-3257-1901 NTT-FAX ; 03-3257-3200)

審 査 : 日本鉄道車輛工業会規格審査会

作成委員会 : 当工業会基準整備委員会

この規格についてのご意見又はご質問は、当工業会にお願いします。

なお、この規格は、原則として5年を経過する日までに確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 材料及び分類	1
5 シールコックの分類	2
5.1 口径の呼びによる区分	2
5.2 管路開通時のハンドルの向きによる区分	2
5.3 ハンドルの操作方向による区分	3
5.4 排気孔による区分	3
5.5 ハンドルの色の区分	6
5.6 環境温度条件による区分	6
5.7 区分記号	6
6 外観及び寸法	8
7 性能	9
7.1 外部漏洩	9
7.2 気密	9
7.3 作動	9
7.4 耐圧	9
7.5 耐振動	9
7.6 通気容量	9
7.7 繰返し作動耐久	10
7.8 環境温度	10
8 試験	10
8.1 試験の分類	10
8.2 試験の項目	10
9 検査・試験の方法	11
9.1 形状検査	11
9.2 性能試験	11
10 製品の呼び方	12
11 表示	12
12 塗装	12
13 包装	12
14 取扱時の注意	12
附属書 A (規定) シールコックの取扱時の注意	13
解説	14

まえがき

この規格は、“日本鉄道車輛工業会規格（以下、鉄車工規格という。）の制定に関する規程”の規定に則り“鉄車工規格審査会”の審議を経て、日本鉄道車輛工業会会長が制定したものである。

この規格は、著作権法によって保護される著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。日本鉄道車輛工業会会長及び鉄車工規格審査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

参考 コックに関する日本鉄道車輛工業会規格

番号	規格番号	名 称
1	JRIS E 4101	鉄道車両用ドレンコック
2	JRIS E 4102	鉄道車両用アングルコック
3	JRIS E 4103	鉄道車両用締切コック
4	JRIS E 4105	鉄道車両用三方コック
5	JRIS R 1601	鉄道車両－空気配管用締切ボールコック
6	JRIS R 1602	鉄道車両－空気配管用三方ボールコック
7	JRIS R 1603	鉄道車両－ドレンボールコック
8	JRIS R 1604	鉄道車両－空気配管用締切シールコック（この規格）

JRIS “R シリーズ” 制定の背景

2002（平成14）年まで作成・整備してきた“鉄車工標準：RIS”は、1969（昭和44）年代の車両構造の多様化の中で、車両部品の汎用品化(共通使用)、市販品の車両部品への活用などを可能にする活動の一環として、価値分析の手法の活用及びそれぞれの分野のノウハウを取り入れながら、製品仕様、設計標準、作業標準などを標準として定めてきた。近年、JISは国際規格との整合化の方針に沿って性能規定化に移行しつつあるが、RISは鉄道車両業界で必要とする事項を規格として定めているため、従来のRISの制定方針に沿う標準と新しいJISの考え方に沿う標準との複数が構成されている。

今後、我が国の進んだ技術をベースにした団体規格が、国内のみならず国外でも活用できるようにするために、2003(平成15)年1月に鉄車工規格の作成、登録を公正にするための手順を定めた。この目的に沿うように、既存の“鉄車工標準：RIS”は、順次“鉄車工規格：JRISのRシリーズ”への改組と必要な見直しを行って原案をまとめ、あらためて鉄車工規格審査会の承認を経て制定・登録する作業がスタートした。

改組して新規に登録する規格の番号は、従来との関連がわかるように、前身のRISの番号の前に零(0)を加えて四桁の番号で構成する。

なお、2003年以降新規に作成・登録する“Rシリーズ”の規格は、1001番以降の番号で登録する。

JRISは、関係する技術分野に応じて五つに区分した体系で構成していて、この規格の“Rシリーズ”のほかに、“D”、“E”、“J”及び“W”シリーズがある。

鉄道車両—空気配管用締切シールコック

Rolling stock-Seal cocks for pneumatic piping

1 適用範囲

この規格は、鉄道車両の空気配管路に用いる締切シールコック（以下、シールコックという。）について規定する。この規格が対象とするシールコックの口径の呼びは、3/8、1/2、3/4及び1の4種類とする。

この規格のシールコックは、JRIS E 4103に規定しているコックと配管との組付け寸法で互換性がある。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0203:1999 管用テーパねじ

JIS B 7507 ノギス

JIS B 8373:2009 空気圧用2ポート電磁弁

JIS E 4001 鉄道車両—用語

JIS E 4031 鉄道車両用品—振動及び衝撃試験方法

JIS G 3452 配管用炭素鋼鋼管

JIS G 3459 配管用ステンレス鋼鋼管

JIS G 5502 球状黒鉛鋳鉄品

JIS G 5705 可鍛鋳鉄品

JIS H 3250 銅及び銅合金棒

JIS H 5120 銅及び銅合金鋳物

JIS K 6384 合成ゴム—NRSR—試験方法

JIS Z 8703 試験場所の標準状態

JRIS E 4103 鉄道車両用締切コック

JRIS R 1031 鉄道車両—薄肉炭素鋼鋼管

規格概要につき以下は省略する。